

# イネーブラー事業

商工中金は地方経済や地域の中核産業の再興を実現する「本業支援一体型金融フロンティア事業」をイネーブラー事業\*と名付け、2019年秋から本格開始しています。

\*イネーブラーとは「Enable（可能にする）」を語源とし、「不可能を可能にする」伴走者という意味です。

## イネーブラー事業の展開



## イネーブラー事業の基本的考え方



## 自動車業界へのサポート事例

### カーボンニュートラルに向け、組合と連携した経営者向け勉強会を実施

株式会社SUBARUのサプライヤーが多い群馬県太田市において、太田機械金属工業協同組合様と共同で、サプライヤーである組合員に対してEV化やカーボンニュートラルに向けた取組み等についてアンケートを実施。

アンケート結果の還元やカーボンニュートラルの背景や必要性を説明するため、約90名が参加する経営者向け勉強会を開催しました。



▶▶ 事例の詳細はこちらの動画をご覧ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=l3zinUfRmGA>



## EV化に向け、自動車部品サプライヤーに対して「ものづくりスクール」を開講

次世代自動車へのトランジションなど産業構造の大転換の渦中にある自動車部品サプライヤーに対し、業界を取り巻く環境を正しく理解し、生産性向上について共に考える場を提供する目的で、約300名が参加するセミナーを実施しました。

今後、商工中金は、本取組みを進め、お客さまの課題に応じたソリューションを提供してまいります。



## 物流業界へのサポート事例

### 物流の2024年問題に特化したセミナーを開催

物流の2024年問題とは、トラックドライバーの時間外労働の上限規制により発生する輸送能力の低下やそれに伴う収入減少等の問題です。

商工中金は、2024年問題に取り組む物流事業者に対して、物流効率の最大化、安心安全な物流、持続可能な社会の実現に向けたセミナーを開催しました。



## 持続可能な物流業界の実現に向け、関係機関と連携「物流の2024年問題」に取り組むお客さまをサポート

一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC) 様、一般社団法人サステナビリティ・DX推進協議会 (SDXC) 様、ウイングアーク1st株式会社様 との連携

本連携は、中小運輸事業者が直面する「働き方改革」や「生産性向上」といった経営課題をデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進等によってサポートすることを目的としています。

事業計画策定・計画実行支援・改善ツール提案・補助金活用支援等、課題解決に向けた一貫したサポート体制を構築し、働きやすい職場環境の整備や労働生産性を高めるIT導入をサポートすることで、持続可能な物流業界の実現に貢献してまいります。

